

## 平成 30 年度 第二回 宜野湾市市民協働推進審議会 会議録（要旨）

日時：平成 30 年 9 月 25 日（火）午後 7 時 0 0 分～午後 9 時 0 0 分

場所：宜野湾市役所 第二常任委員会室

出席：岩田直子委員長、稲垣暁委員、宮道喜一委員、大城周子委員、島袋盛子委員、城間仁委員、新垣真弓委員、森根清昭委員、松本勝利委員

欠席：久米保源委員

- ・市民協働推進課長あいさつ
- ・委嘱状・辞令交付
- ・各委員自己紹介
- ・前回審議会の振り返り

### 開会

**委員長** 会議規則第 6 条第 2 項に基づき、委員の半数以上が出席しておりますので、本会議は成立いたします。ではこれより議事の進行を進めてまいります。

報告 1：実施計画の進捗報告について、事務局から説明をお願いします。

**事務局** 【資料に沿って説明】

**委員長** それでは、報告 1：実施計画の進捗報告についての説明が終わりましたが、それについて、何かご質問等があればお伺いしたいと思います。

<質疑応答> 10 分程度

**委員** 会議などで発言したことが、次に繋がっていないのが残念。

市民協働推進課だけで考えていてはもったいない。どう様々な人たちに市民協働の理念を広めていくかがポイントなるのではないか。情報発信の仕方を考え、次の人財を発掘していければ良いと思う。

はごろも祭りなどでは、ボランティアが高齢化しているので若者が参画して欲しい。

**事務局** 行政だけでは、課題解決は難しい所があるが、どのように市民協働の理念を発信していけば効果的なのか検討していきたい。

**委員** 愛護会など公園関係のボランティア団体があり、各々が地域の公園で美化活動をし

ているが、お互いで情報交換する場がない。建設部でやることなのか、市民協働推進課でやることなのか分からないが、交流会は必要だと思う。

**委員長** 森根委員ありがとうございます。それではお時間もございますので、議題にすすみたいとおもいます。それでは、議題1：実施計画・重点施策の見直しについて、事務局から説明をお願いします。

**事務局** 【資料に沿って説明】

**委員長** それでは、議題1：実施計画・重点施策の見直しについての説明が終わりましたが、委員の皆さま、中間見直しについてですが、事務局（案）のように進めてよろしいでしょうか。ご意見などはございますか。

<質疑応答> 10分程度

**委員長** 宜野湾市の課題は3つに集約されるという事にはたどり着いた。それを踏まえて今年度は見直しの時期なので、委員の皆さままで考えていきましょう。見直しなので、大きく修正するのではなく、優先順位を決めていきましょう。

**委員** 重点と重点でないものの違いはありますか。

**事務局** 今後2年間で、優先的に進めていくべき項目が重点となります。

**委員** 中間見直しを実施して、あと2年間に最も取り組んでもらいたいものを絞り込んでいく作業ということですね。

これまでの審議会でも3つの重点項目がでたので、あと2年間事務局に対して重点的にやるべきものを示していかないと、拡散するので、集中的に実施していく事業を絞り込んでいくということだと思う。

**委員長** ありがとうございます。それでは、集中的に実施していく事業を絞り込んでいけるように、委員の皆さま、見直しについて検討していきましょう。10分程度考える時間としたいと思います。考える時間の後に、隣りの人と話して、付箋紙を張りながら見直しを進めたいと思います。そのあと発表をお願いします。よろしいでしょうか。

ワーク (2人1組で検討しその後発表)

#### **施策1 協働情報の市報やホームページ等への掲載**

自治会の未加入者へどう情報を届けるか。

どのような情報をどのように発信するのかを重点にあげたい。

#### **施策11 協働や地域づくりを学ぶ講座の開催、地域コーディネーター養成講座の開催**

ぎのわん地域づくり塾は、モデル地区である上大謝名地区の方が多く参加していて学びとなっている。今後は、自治会以外の人たちの参加が多くなればさらに良いのではないかな。

#### **その他 施策17 寄付や税制優遇制度に関する情報提供や意識啓発**

遺贈寄附、休眠預金の仕組みについて議論しておく方が良いのではないかな。

重点ではないが、今後のために整理する必要があるのではないかな。

#### **その他 施策18 地域における活動の拠点(場づくり)**

自治会毎に公民館があるのは、大きな財産である。公民館の利用を未加入者以外も利用できるようにできないか研究が必要だと思う。重点にしても良いくらい大事だと思う。

#### **その他 施策19 地域づくりの新たな枠組みの調査・検討**

自治会が地域づくりの基盤であることは間違いないが、自治会だけにこだわらず、地域の活動を活性化していくことができないか検討が必要だと思う。

#### **施策20 自治会や地域単位での話し合いの場づくりの支援・推進**

困りごとを共有する会議の場をどう作っていくかが、喫緊の課題だと思う。

ウィーラブぎのわん、支え合い活動委員会、緑化活動など、テーマごとに協議の場はあるが、協議の場をどう進めていくかという仕組みづくりを研究する必要があるのではないかな。

#### **施策23 市役所内での市民協働研修実施及び協働推進員制度の構築**

宜野湾市役所の庁内の繋がっているボランティア団体、各課が繋がっている団体を適切に支援することが必要なのではないかな。補助や、物品、団体間を繋いで行くネットワークづくりをすることで活性化が図られるのではないかな。

#### **施策27 協働事例集の作成**

宜野湾市にはたくさんあるが、共通認識がもててないので、協働事例を掘り起こして庁内で共有することは出来ないかな。

職員研修されている中で事例研究することで学びの場になる。

市民活動団体も行政と連携しているので、インターネットで発信することが必要ではないか。いつでもだれでも見に行ける媒体を作っていくプロセスをどこかの団体と連携できたらいい。

#### **施策4 協働情報の市報やホームページ等への掲載**

緑の募金、赤い羽根、歳末助け合いなど自治会へお願いするが、役所の問合せ先がバラバラなので一元管理できないか。一覧リストにする等、受け手の側が効率的に業務を進めれる運営を研究する必要があるのではないか。

#### **施策9 活動情報の一元集約・情報窓口の設置**

拠点施設の整備、総合窓口の整備ができないか。情報の一元化をすることによって、情報がストックできるのではないか。

#### **その他 施策12 協働の人材バンクの設立**

宜野湾市は健康都市宣言を実施しているが、健康都市の話を伝える人が少ないので、伝える人のマッチングをシステム化ができないか。

#### **施策1 協働情報の市報やホームページ等への掲載**

大学生など、活動したい人たちへの情報発信を強化できないか。  
充実はしているが、受けて側の問題を見直す必要がないか。  
各世代への情報発信を重点的にできないか。

#### **その他 施策10 企業の社会貢献活動等の推進に関する調査・研究**

重点にするかは別として考えてみてもいいのではないか。  
施策21に繋がると考えている。

#### **施策21 市民団体、企業、教育機関、行政などのマッチング・交流会の開催**

企業側としては、地域の自治会から求められる依頼が少ない。会員になってもらいたいという事はあるが、もう少し企業の力が活かせる仕組みづくりが必要ではないか。

各地域と企業が繋がる。調査研究も必要じゃないか。

若い人ほど自治会に入っていないので、企業で自治会活動を支えると従業員も学ぶことが出来るのではないか。

企業は連携したいと思っているが、企業と自治会は接点が無い。

行政がやっているサービスについて、市民から提案もあるだろうし、行政と市民と企業で意見交換することで、良いアイデア生まれるのではないか。協働のまちをつくっている感じがでるのではないか。協議する場が必要だと考える。

### **施策1 協働情報の市報やホームページ等への掲載**

いろいろな媒体はあるが、誰が出ているのか知る手段がないので、番組表（誰が何に出ているか見える化）を作ってはどうか。

戦略をたてて情報発信。

ツールを誰がつかればよいのかなど研究が必要だと思う。

普天間高校、中部商業、宜野湾高校。中学校の放送部の子が上手くしゃべれるので、放送部と連携してはどうか。

### **施策8 まちづくり出前講座や地域懇談会の実施**

施策20「自治会や地域単位での話し合いの場づくりの支援・推進」と連動（困りごと、ニーズとのマッチング）して話し合いの場をつくる事が必要ではないか。

地域のニーズと困りごとはある。何かやりたいという人たちもいる。

しかし、マッチングが上手くできていない。

地域の子どもの朝ごはんをどうにかしてあげたい。という人もいる。その地域の朝ごはんの課題はどうか。分からないまま進んでいる。

本当は自治会を通すことでいろいろな巻き込みがあると思う。

地域懇談会など議論する場が必要ではないか。

### **施策14 中間支援機能の研究、人材・団体の育成**

各団体・キーパーソンの役割整理（重複、ミスマッチの解消）が必要ではないか。

地域の中でキーパーソンは増えている。子供関係の支援員、社会教育の地域コーディネータ、まちづくりのコーディネーターがいろいろいるが、混乱している。

その人たちの役割を整理しなければ、コーディネーターさんの領域が分からなくなっている。

地域の中で話し合いができていないので、話す場を作る必要がある。

情報の出し入れの場を作る。情報発信の担い手の研究も必要ではないか。（中間支援）

**委員** 各団体のキーパーソンの整理は重要。民生委員が担っていたことが、入れなくなっていることが出ているので、役割を定義してあげることが必要ではないか。

**委員長** ありがとうございます。次回の審議会までに事務局で、取りまとめてください。それでは、そろそろお時間となりましたので、これで審議会を閉会させていただきます。

**閉会**